



◀大小さまざまなタケノコを買い求めるお客さん。

島田たけのこがずらり

島田たけのこを広くPRしようと4月21日に「たけのこ祭り」が道の駅あらエッサで開催されました。

当日は、朝堀りタケノコの販売や若竹汁の振る舞い、重量あてクイズなどでにぎわいました。島田たけのこは、身が柔らかく、繊維がきめ細かいため食感が良いのが特徴。県外からも買い求める人がいるなど、人気を集めています。

島田加工農業協同組合の岩崎義明組合長は「最近、おいしさが伝わったのかりピーターがかなり増えています。多くの人に島田たけのこを味わってもらい、好きになってもらえてうれしく思います」と話していました。



健康経営の一環で食事の研修会

ゴム、プラスチックの部品製造を手掛ける城東化成株式会社（佐久保町）で4月20日、「ストレスと食事」をテーマにした研修会が開催されました。同社では年2回、さまざまテーマで全社員を対象にした研修会を行っています。社員の健康管理はコストではなく投資という健康経営の観点から今回は、市いきいき健康課の和田管理栄養士を招いた研修を企画しました。

研修会には約100人が参加。不規則な食事が胃

たっぴくす



まちの話題や出来事をご紹介します



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック (FB)」で公開しています。



はくたチューリップ祭の会場には、伯太中学校の皆さんが考えた撮影スポットが登場。多くの人が記念撮影をしていました（4月14日）



今月の一枚



◀研修は勤務時間中の1時間をかけて行われました。

腸への負担となり新たなストレスにつながることや、ストレスを減らすのに必要な栄養素などの話を熱心に聞き入っていました。

同社の原政史代表取締役社長は、「従業員の平均年齢は40歳代前半で若い社員が多く、食事には無関心になりがちです。今回の研修が自身の健康について考えるきっかけになってほしいと思います。体調管理をしっかりともらい、生産活動に影響がある当日欠勤の防止につながることを期待しています」と話していました。

ゴールデンウィーク・カメラウオッチ



比婆山神話フェスタ「イザナミ祭」は、古代口マンを求めて多くの人々が来場。登山ウオークでは117人が山頂を目指しました（5月5日）



第24回やすぎ刃物まつりは天候にも恵まれ、有名産地の刃物展示販売やものづくり体験などが賑わっていました（5月4・5日）



布部交流センター横の飯梨川では、元気に泳ぐ鯉のぼりが。マイカーを止め、新緑の中の鯉のぼりを撮影する人も見られました。



月山富田城跡には多くの山城ファンなどが訪れていました。歴史資料館に展示中の富田城ジオラマ模型も人気です。



連休中の足立美術館。駐車場は県外ナンバーの車がびっしりと並び、ほぼ満車状態になりました。



月山富田城跡の記念品「御城印」は、新元号版が登場。5月1日には多くの人買い求めていました。



古代出雲王陵の丘つつじ祭りが行われ、家族連れでにぎわいました。つつじが咲いた遊歩道を登ると絶景が広がります（5月5日）

